

中大路集落「集落営農ビジョン」

作成日：平成 28 年 2 月 24 日

修正日： 年 月 日

市町村名	鳥取市	組織名	中大路楽農舎	
1 地区の範囲				
鳥取市 中大路地区				
2 地区の概要				
水田面積 23.9 ha		主な水田栽培作物：水稲・大豆		農家数 27 戸
認定農業者数：0 経営体		人・農地プランの中心となる経営体数：1 経営体		
3 組織化及び集積率（経営、機械の共同利用及び作業受託）の目標				
	【項目】	【現状】	【目標】平成 31 年度	
組織の概要	設立時期 (規約等の制定日)	平成 27 年 1 月 21 日	年 月 日	
	組織形態 (該当形態に○を記入)	・未組織 ・共同利用型 ・作業受託型 ・協業経営型	・共同利用型・作業受託型 ・協業経営型	
	構成農家数	12 戸	14 戸	
農地の集積	集積面積 A	21.1 ha	21.6 ha	
	対象水田面積 B	23.9 ha	23.9 ha	
	集積率 A/B	88 %	90 %	
世代交代への取組		現在 80 歳前後から 60 歳前後 へ交代済み	当面は計画無し 但し、10～15 年後を目途に 後継者の育成必要	
新規就農者の活動参画		無し	計画無し	

- 注1) 目標は、事業実施最終年度の翌年度とする。
- 2) 設立時期の目標欄は、ビジョン作成時に組織が設立されていないときのみ記載すること。
- 3) 集積面積の詳細は、別表「集積目標（実績）一覧」により作成。
- 4) 集積率の目標は、50%超が採択要件。
- 5) 集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。
- 6) 集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増、世代交代への取組、新規就農者の活動参画のいずれかでも可。ただし、世代交代への取組又は新規就農者の活動参画の欄に現状及び目標を記載すること。

1 集落営農に対する基本方針

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標	『中大路楽農舎』を担い手とし、大豆生産を軸とした共同作業及び機械の共同利用を図る。現在中大路集落全体では、水田23.9haのうち、7.4haについて大豆生産を行っており、『中大路楽農舎』としては、大豆7.4haの播種・中耕培土と収穫を行っている。また、水稲13.7haの耕起・代掻き、田植え、刈り取りについて、個人利用機械を利用し実施しているが、高齢化、後継者不足の背景の中、将来の集落の維持・発展には当組織の役割が大きい。そのため機械導入により集落内の農地の遊休化を防止したい。また、昨今の農業情勢と生産者の高齢化と後継者不足が進行する中、農地と地域の維持・発展を図るために将来的には法人化を目指し、農地集積を図ることに加えて、後継者育成にも積極的に取り組みたい。
2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策	普通大豆及び種子大豆生産を転作の柱とし、団地化・ブロックローテーションにより、生産面積の拡大、品質向上及び省力・低コスト生産を図る。 また、水稲生産については、早生品種の「コシヒカリ」、「ひとめぼれ」に加え中生品種の「きぬむすめ」の作付推進をはかることで、適期作付、刈取を行い、作業の分散化を図ることで品質向上を図りたい。
3 農業用機械施設の効率利用	現在当組織で歩行管理機(7ps)2台所有し播種・培土を行っているが、年式も古く面積7.4haの作業に多くの時間を要している。今後面積拡大し、8.6haの作業を計画しているが、作業の効率化と適期作業による大豆の増収、品質向上、コスト低減を図るため、乗用管理機(23ps)を導入し対応したい。 また、当組織の作業受託の重要な部分を占める刈取作業について、大豆刈取については本年度専用コンバインを更新し、高速作業による効率アップ・適期刈取による品質向上を目指している。また、水稲刈取については個人所有機械の老朽化に伴い、新たにコンバインを当組織で導入し、個人所有機械の集約化を含め、個人所有機械との効率化を図ることで、適期刈取りと品質向上を目指し、地域の水稲作付の作業体系強化による地域の維持・発展に繋げる。
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針	中大路地区では現在50歳代後半から70歳未満の農業者が中心的に従事しており、当面の後継者問題は無い。しかし、10年後・15年後を考えると後継者がいない状況である。近い将来の法人化を踏まえ、若い人が農業で生活できる環境づくりをしていかなければならない。
5 経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューを実施する組織においては必ず記入】	『中大路楽農舎』においては、多角化・新規作物・販路拡大等、当面考えていない。 。

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備計画

機械施設名	規格能力	台数等	金額 (円)	導入予定年 月	本事業による導 入機械に○
乗用管理機	23Ps	1	4,624,560	H28年4月	○
水稲コンバイン	4条刈り	1	7,084,800	H30年8月	○